

第17回 第二言語習得研究会(JASLA) 全国大会

大会テーマ
年少者の日本語教育と習得研究

2006年12月9日(土)～10日(日)

於 早稲田大学22号館

(169-8050 新宿区西早稲田1-6-1)

◆目次◆

| | |
|--|-----|
| プログラム | 2 |
| 予稿集掲載内容一覧 | 5 |
| 大学構内地図, 交通案内, ランチマップ..... | 7 |
| 予稿集 | 9 |
| 『第二言語としての日本語の習得研究』投稿規定・書式 | 94 |
| 第18回第二言語習得研究会(JASLA) 全国大会研究発表の募集 | 100 |
| 第二言語習得研究会(JASLA) 2006年役員・委員 | 101 |

プログラム

■ 12月9日(土) (会場：22号館2階) ■

12:30 受付

13:00 開会 司会 小林 ミナ (早稲田大学)
開会の辞 鎌田 修 (第二言語習得研究会会長)
開催校挨拶 宮崎 里司 (早稲田大学)

13:10～14:15 《基調講演》 柴山 真琴 (鎌倉女子大学)
年少者の日本語習得研究における質的研究の可能性

*** 休憩 (15分) ***

14:30～16:45 《パネルディスカッション》
年少者の日本語教育と習得研究
司会：河野 俊之 (横浜国立大学)

パネリスト1：小柳かおる (上智大学)
年少者の日本語習得研究から見えてくること
—日本語習得研究の理論的構築に向けて—

パネリスト2：池上摩希子 (早稲田大学)
JSL 児童生徒の学習環境と日本語習得に関する考察
—習得研究と実践を結ぶもの—

パネリスト3：齋藤 恵 (中国帰国者定着促進センター)
JSL 児童生徒の「初期適応教育」の現場で見えてきたこと
—習得研究に望むこと—

指定討論者：柴山 真琴 (鎌倉女子大学)

16:45～17:00 総会・事務局からの連絡

17:30～19:30 《懇親会》 (会場：22号館8階会議室)

■ 12月10日(日) (会場: 22号館2階) ■

9:00 受付

《口頭発表1》

10:00~10:30 中国語母語話者による日本語のモダリティ習得過程の機能論的分析
玉地瑞穂(高松大学)・堀江薫(東北大学)

10:30~11:00 英語を母語とする中・上級日本語学習者の漢字語彙の認知について
-複雑性の影響-
小森早江子(中部大学)

11:00~11:30 語彙習得におけるフォーカス・オン・フォームの効果
-内容中心教授法で文化を学ぶ日本語学習者の場合-
ウェイ諸石万里子(パデュー大学)

11:30~12:00 成功アップテイクを導く訂正フィードバックの特徴
-初級クラスと中級クラスの比較から-
坂大京子(南山大学大学院生)

*** 昼休み ***

13:30~15:30 《ポスター発表》

(1) 作文指導におけるピア・レスポンスによる推敲
古田一恵(南山大学大学院生)

(2) 第二言語としての日本語動詞句の記憶に及ぼす被験者実演課題(SPTs)の効果
-モダリティを含む動詞句におけるSPTs効果の検討-
中原郷子(広島大学大学院生)

(3) 中・上級日本語学習者の聴解と問題解決能力
-日本留学試験聴解テストにおける解決能力と課題タイプ別難易度について-
前田由樹(広島大学大学院生)

(4) 日本語学習者用リスニングスパンテストの開発(1)

-台湾人日本語学習者を対象とした妥当性の検討-

松見法男(広島大学)・福田倫子(同)・古本裕美(広島大学大学院生)・邱俞瑗(同)

(5) 教室内第二言語習得とアイデンティティ構築行為の交錯

池田佳子(名古屋大学)・エリカ・ジーママン(US Naval Academy)

(6) スウェーデン語母語話者による日本語の音長区別における持続長の特徴について

井上美代子(名古屋大学大学院生)

(7) 日本語学習者の授受動詞習得における母語の影響

尹喜貞(お茶の水大学大学院生)

《口頭発表2》

14:00~14:30 漢字圏出身日本語学習者のテキスト理解における未知語の意味推測

-L2 言語知識と母語背景によるストラテジー使用への影響-

山方純子(神田外語大学大学院生)

14:30~15:00 日本の大学における学部留学生の講義理解上の問題と解決ストラテジーの特徴

武田春子(ニューサウスウェールズ大学大学院生)

15:00~15:30 日本語学習者の語彙習得に関わる要因-韓国語母語話者の場合-

李榮(神田外語大学大学院生)

*** 休憩(15分) ***

15:45~16:45 《講演》 投野由紀夫(明海大学)

学習者コーパス研究: その概要と第2言語習得研究への示唆

16:45 閉会の辞 鎌田修